

弊社 鹿島建設株式会社は、1840年（天保11年）の創業から現在に至るまで、人々が安全・安心で快適に暮らすことができる社会を目指し、建設事業を通じて産業・経済の発展に貢献してきました。四国支店は、1943年（昭和18年）に愛媛県多喜浜村（現在の新居浜市）へ現場進出し、その後1948年（昭和23年）に当地高松で支店として産声をあげました。

弊社の安全衛生方針では、安全は企業の能力と良心を示すバロメータであるとの理念に基づいて、

1. 三現主義（現場で・現物を・現実）と現地における指差喚呼を徹底し、ヒューマンエラーによる災害・事故を防止する。
2. 当社と協力会社のコミュニケーションを強化し、人間・機械・設備が相互に協調した安全で快適な職場環境を形成する。

ことを掲げており、それらを実践することで災害・事故の撲滅を図り、信頼の確保と企業の持続的な発展を目指しています。また全社スローガンである「決心せよ！今日一日の無災害」、「ひとつひとつ心を込めた物づくり」を全現場で横断幕を掲げ、安全・品質両面での注意喚起を図っています。

四国支店独自の取組みでは、現場第一線で働く社員、協力会社の職長・作業員、全ての関係者一人ひとりが本日の作業に対する安全宣言を行うことにより潜在意識を掘起し、自覚を持たすことでヒューマンエラーによる災害を防止しようとする「88の誓い（安全宣言活動）」を展開しています。

また建設業界全体の喫緊の課題である「働き方改革」や「次世代の担い手確保」についても積極的に取組んでおり、「長時間労働の是正」や「年休の取得促進」や「柔軟な働き方の促進」等、KPIと行動計画を定め対応しており、特に現業部門においては、生産性を上げて、「4週8閉所」に取組みながら工程を守り、建設技能者の処遇の改善を図る。」を重要なテーマとして取組んでいるところです。

最後になりますが、「全社一体となって、科学的合理主義と人道主義に基づく創造的な進歩と発展を図り、社業の発展を通じて社会に貢献する。」の経営理念のもと、これからも真に快適な環境創造の担い手として社会の要請にこたえられるよう研鑽を積み、社会に貢献できる企業を目指して歩んでまいります。

鹿島建設株式会社四国支店  
安全環境部 野島 強